

昭和館だより



平成 18 年 3 月 1 日
第 6 号 編集・発行



〒102-0074
東京都千代田区九段南1-6-1
☎03-3222-2577
<http://www.showakan.go.jp>

今夏

七月にリニューアルオープン。

内容を一部刷新

本年は終戦より六十一年、日本は経済大国として、世界の中心的国家の一つといわれるようになり

ました。しかし、世界を見ると、一日として戦争が起きていない時はありません。同じ事が六十年前

に日本で起きたという現実から、戦争が如何に悲惨であったか、復興から平和を享受できた事が如何に幸せであり、大事であるかを次世代を担う青少年のみなさんに戦中・戦後の労苦について学ぶことにより、理解していただきたいと考えております。

平成十一年三月の開館以来、多くの小・中学生等からご来館がありました。当時の労苦を伝える当館の趣旨が、多くの学校関係者の方々に知られた結果と考えております。また、来館されたみなさんのアンケートからは、戦争の虚しさ、悲惨さ、現在の幸福を享受している意見などを多数いただきました。

充実した学習施設、昼食場所や駐車場の手配も

常設展示室の七階では、昭和十年頃の東の間の平和から、日中、太平洋戦争の中、代用品の使用、配給制等、総力戦の影響が市民、更には子供達へも及んでいた当時の生活の労苦を紹介しております。

同六階では、戦後の復興期、焼け跡での物資・食料の窮乏状態の中でも、知恵と勇気を振り絞り、たくましく生きた庶民の生活、子供達の日常を紹介しております。各コーナーには「解説シート」が置かれ、自由に取ることができま

す。また、音声ガイドの無料貸出しも行っております。
なお、常設展示室は、七月一日にリニューアルオープン致します。資料が大幅に入れ替わり、新たに「和男君の防空探検」と「パーチヤルこれなあに？」というPCを使った体験型展示を導入、年表や空襲被害地図、各ブースの補足映像などが刷新されます。
図書室(四階)では、当時の書籍、各種雑誌、新聞縮刷版、昭和全般に関する書籍等を揃え、カウ



7階常設展示室「銃後の備えと空襲」



7階常設展示室「昭和10年頃の家庭」



6階常設展示室「廃墟から出発」



映像・音響室には使いやすい検索端末があります。(5階)



図書室では、調べ学習のお手伝いをします。(4階)



この一枚

<写真資料>



「ガルミッシュ・パルテンキルヘン 冬季オリンピック」(昭和11年2月)

この写真は先日のトリノオリンピックではありません。70年前に、ドイツで開催されたガルミッシュ・パルテンキルヘン冬季オリンピックの様です。フィギュア・スケートは、今と違って屋外で、開催されていたんですね。手前の日の丸をつけているのが日本の稲田選手です。



昭和館は、戦中・戦後のくらしを伝える国立の施設です。(左：昭和館 右：九段会館)

センターの担当者が、生徒さんの資料を探す際のお手伝いをしており
ます。
映像・音響室(五階)では、タッチパネルやキーボードによる検索端末を使い、戦中・戦後の記録写真、ニュース映画、動画、音楽、各種データベース等を閲覧できます。
当館では、説明員による案内も行っており、学校団体には、昼食場所を提供しています。また、学校団体は、バスを無料で駐車できます。(事前のご予約をお願いいたします)
平和への誓いを新たに、修学旅行、総合学習、社会科学見学等の見学先として、昭和館を是非ご利用ください。職員一同、皆様のご来館を心よりお待ちしております。

二月の出来事「東京大空襲」

昭和二十年三月十日、米国爆撃機の大編隊による空襲で、江東区、墨田区等の東京の下町はまれに見る大損害を受けました。約十万人の死者・行方不明者、多数の重軽傷者が出ました。その多くが、労働生産世代の女性、疎開していない幼児、低学年生という弱者達でした。また、前日は国民学校の卒業式で疎開先から帰京して、犠牲になった児童もいました。



来館校については、授業でも使えるパンフレットを差し上げています。

2学期の主なご来館校

専修大学松戸中学校 1年生	158名
筑波大附属小学校 6年生	153名
入間市立扇小学校 6年生	147名
江戸川区立小松川第二小学校 6年生	146名
鎌ヶ谷市立中部小学校 6年生	143名
富士市立須津小学校 6年生	140名
竜ヶ崎市立八原小学校 6年生	140名

(人数順)



戦中・戦後のニュース映画を上映する「昭和館懐かしのニュースシアター」(1階)

第十八回特別企画展

「初公開 国立プロシア文化財団絵画アーカイブ所蔵

ベルント・ローゼ写真展「希望の光」

ドイツ人特派員が撮った昭和二十六年の日本」

平成十八年二月二十五日(土)から四月九日(日)にかけて、戦後初めて来日したドイツ人カメラマン、ベルント・ローゼの写真展を当館三階で開催しています。本展では、ローゼが撮影した戦後の復興期の日本の風景と市民の日常生活の写真約百点が展示されます。

ご意見をお寄せください

本紙を読まれたご感想、昭和館へのご意見、また実際に見学された際のご感想等を下記にお送りください。今後の編集と、館の運営の参考にさせていただきます。

〒102-0074
東京都千代田区九段南1-6-1
昭和館 総務課
ファックス 03-3222-2575

ソクソク「モノ」の歴史事典

(ゆまに書房)

帽子、牛乳、動物園などいろいろな「モノ」がどのように生まれ、どのように変化してきたかを年表でたどることができる資料です。
全十巻で「よそおう、すむ、たべる、のむ、いく、あそぶ、つかう、のる、みる・よむ、きく」の巻があります。



今日の1冊
↑図書資料↓